

[通常機体]カ A 「機動戦士ガンダム」

ガルスJ

機体名	ガルスJ	画像
型式番号	AMX-101	
英語名	GALLUSS-J	
所属	ネオ・ジオン	
パイロット	マシュマー・セロ	
装甲材質	ガンダリウム合金	
装備	ミサイルポッド×2フィンガーランチャー（毎分260発）エネルギーガン（出力3.8MW）	
作品名	機動戦士ガンダム	
参考書籍	1/144 ガルスJ説明書	

内容

Gジェネ

ネオ・ジオンが地球攻略用に開発した陸戦用MS。

ほぼ同時期に開発されたAMX-009 ドライセンと比較すると、総合的な能力は一步譲るものの、生産性の高さが評価され、多数が量産され戦場に投入されている。

都市攻略戦における、遠距離攻撃後の制圧行動に主眼をおいて開発されている。

そのため軍事行動においては、支援型のMS、特にAMX-102 ズサと共同作戦をとることを前提としている。

通常の色はグリーンだが、ハマーン・カーンに叛旗を翻したグレミー・トトの自軍部隊のガルスJはグレーにカラーリングされた。

1/144 ガルスJ説明書

アクシズが、再度地球圏へ侵攻するにあたり、戦力増強のために試作された一連のMS群の中の一機。

地球圏に散っていた元ジオンの技術者たちが、再びアクシズへ参加して開発にあたった機体であるため、それまでの主力であった「ガザ」シリーズ以上に、旧ジオン系MSのコンセプトが色濃くはいった設計となっている。

加えて、地球圏から戻った技術者たちが収集した、連邦軍MSのコンセプトとして、ムーバブル・フレーム、リニア・シート、ガンダリウム合金等を導入しており、両肩のミサイルポッド、左手のフィンガーランチャーと相まって、まとまった能力を持つMSとなった。

主武装は、エネルギーガン。

巡洋艦エンドラ艦長、マシュマー・セロがサイドIの「シャングリラ」で初めて実戦に使用した。

備考

スペック

項目	内容
頭頂高	19.5 m
全高	21.11 m
本体重量	52.7 t
全備重量	78.3 t
ジェネレーター出力	2840 kw
スラスタ総推力	121900 kg
パワージェネレーター出力	2840 kw
移動用ロケット推力	18400 kg × 4 (肩) 16700 kg × 2 (背) 14900 kg (背)
アポジモーター数	不明
センサー有効半径	11200 m
姿勢制御用バーニア	16 基